ほんのもりの

~富岡中図書館だより~

早いもので『ほんのもり』最終号になりました。この1年間で 心に残る本と出会うことができましたか?

本はいろいろなことを教えてくれます。時には、励まして元気 をくれたりします。是非、一生の友となる本を見つけて豊かな人生を 送ってください。

一年間、富岡中学校図書館を利用してくれてありがとうございました。

No.9 2024. 3

富岡中学校図書館 学校司書 村木加津

そこの君!! 返し忘れている本は ありませんか?



富岡中図書館からのお知らせ



返却日 3月4日(月)で一す!!

* 学校の本は全て返却してください。

今月のおススメ本で~す!!

『卒業するわたしたち』

加藤千恵 913 カ

吹奏楽部の 1 年後輩の男子に密かに思いを寄せる先輩女子が、告白できずに卒業していく「流れる川」。仲良しの少し不良の女子高生から、上京してしまうために様々なプレゼントをもらうことになる女子小学生を描いた「屋上で会う」。司書のイチオシは高校を卒業する女子の心情を綴った「胸に赤い花」です。様々なシチュエーションのそれぞれの卒業模様を描いたどこからでも読むことができる短編集です。

*本の内容紹介は各出版社商品紹介などから抜粋

3年生のみなさんへ

3年間の読書記録を差し上げます。希望者は、3月7日(木)までに申し込み券を図書館に持って来てください。

『リカバリー・カバヒコ』

青山美智子 913 7

5 階建ての新築分譲マンション、アドヴァンス・ヒル。近くの日の出公園には古くから設置されているカバのアニマルライドがあり、自分の治したい部分と同じ部分を触ると回復するという都市伝説がある。人呼んで"リカバリー・カバヒコ"。アドヴァンス・ヒルに住む人々は、それぞれの悩みをカバヒコに打ち明ける。高校入学とともに家族で越してきた奏斗は急な成績不振に自信をなくし、カバヒコの伝説を聞いて「頭脳回復」を願ってカバヒコの頭をなでるのだが。心に寄り添ってくれる本です。

読書記録申し込み券

*切り取って持ってきてね!! 3年()組

氏名(

)

富岡中図書館のこの1年

(データは 2023 年 4 月~2024 年 2 月までのものです。)



みなさんは、この1年で何冊本を読みましたか?

貸出し冊数=読書冊数ではありませんが、少しの時間でも本を読む時間を作ってください。中学生の皆さんにしかできないステキな本との出会いが、きっと待っていますよ!!

* 1年間の貸出総数

4、980冊[生徒数 429名]

個人利用 : 2,675冊〈内訳:1年1,042冊2年582冊3年1,051冊〉

その他利用: 2,305冊

*1人あたり年間貸出数 6.2冊 [昨年度 5.4冊]

【*[参考]中学生<u>1ヶ月読書数5.5冊</u>(全国学校図書館協会が2023年5月の1カ月間の 読書数を抽出調査したものです。)】

*個人最多貸出数

【3年生】 (1

① 186冊

② 84冊

③ 72冊

【2年生】

73冊

② 65冊

③ 47冊

【1年生】

① 71∰

② 57冊

③ 34冊

人気貸出し年間ベスト5

【シリーズ小説】

- 1位 5分後シリーズ 桃戸ハル/著(朝読にはもってこいのショートストーリーです)
- **2位 ソードアートオンライン** 川原礫/著(このシリーズは根強い人気です。男子がよく借りてくれました)
- 3位 文豪ストレイドッグス 朝霧カフカ/著(学年問わず女子に人気でした)
- 4位 むかしむかしあるところにシリーズ 青柳碧人/著(「赤ずきん旅の途中で死体と出会う」が人気でした。)
- 5位 スガリさんの感想文はいつだって斜め上 平田駒/著

【小説】

- 1位 あの花が咲く丘で君とまた出会えたら 汐見夏衛/著(昨年映画化され人気が復活しました。)
- **2位 腹を割ったら血が出るだけさ** 住野よる/著(思わず目に留まる題名で、住野ファンに人気でした。)
- 3位 変な家 雨穴/著(「変な絵」も人気でした。映画化決定)
- **4位 夢をかなえるゾウ** 水野敬也/著(「富中生ならこれを読め」コーナーの本です)
- **5位 スマホに届いた怖い話** 藤白圭/著(映画化され、特に3年生女子に人気でした) 【その他】
- 1位 ドラえもん 藤子 F 不二雄/著(1年男子にとても人気でした)
- 2位 ざんねんな偉人伝 真山知幸/著(男子に人気でした。)
- 3位 東大ナゾトレシリーズ 松丸亮吾/監修 (ナゾトレブームのなごりでしょうか。まだまた人気です)
- **4位 7つの習慣ティーンズ** ショーン・コヴィー/著(3年生の女子にお勧めされて購入した本です)
- 5位 学年ビリのギャルが1年で偏差値40上げて慶応大学に現役合格した話 坪田信貴/著